

沼田町過疎地域持続的発展市町村計画【変更】

市町村名：沼田町

区分	頁	行数	変更前					変更後					変更の理由	議会議決 (予定) 年月日	
			【計画】												
			持続的発展施策区分	事業名 (施設名)	事業内容	事業主体	備考	持続的発展施策区分	事業名 (施設名)	事業内容	事業主体	備考			
2. 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成	19	24-26	1 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成	(1) 移住・定住	移住体験事業（体験住宅） 移住希望者に本町での暮らしを短期的に体験いただく  電気温水器更新事業 移住体験住宅	町  町		1 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成	(1) 移住・定住	移住体験事業（体験住宅） 移住希望者に本町での暮らしを短期的に体験いただく  電気温水器更新事業 移住体験住宅  移住体験住宅改修事業 3棟3戸	町  町  町	移住者交流用住宅 含	事業内容の追加のため	令和6年3月14日	
3 産業の振興	23	7	<b>【主な施策】</b> ○担い手（新規就農者及び農業後継者）の育成及び確保を図る。 ○スマート農業の推進を図る。 ○農産物の高付加価値化と高収益作物の生産を推進します。 ○協業化・受託・法人組織の育成を図ります。 ○生産技術の指導体制を強化し、品質及び生産性の向上を推進します。 ○効率的な土地集積及び作付け体系の確立を図ります。 ○土地改良等を始めとする農業基盤整備の促進を図ります。 ○農業者の配偶者対策を推進します。 ○安定した食料の供給を行うための食料貯蔵流通基地構想を推進します。 ○商工業振興対策の推進と、雪冷熱エネルギーの利活用など地域資源を活かした企業誘致活動を積極的に推進します。 ○自然を活かした通年滞在型観光地の展開及び体験型観光を推進し、都市との交流促進を図ります。 ○起業家への支援対策を推進します。 ○広域観光の推進を図ります。					<b>【主な施策】</b> ○担い手（新規就農者及び農業後継者）の育成及び確保を図る。 ○スマート農業の推進を図る。 ○農産物の高付加価値化と高収益作物の生産を推進します。 ○協業化・受託・法人組織の育成を図ります。 ○生産技術の指導体制を強化し、品質及び生産性の向上を推進します。 ○効率的な土地集積及び作付け体系の確立を図ります。 ○土地改良等を始めとする農業基盤整備の促進を図ります。 ○農業者の配偶者対策を推進します。 ○安定した食料の供給を行うための食料貯蔵流通基地構想を推進します。 ○商工業振興対策の推進と、雪冷熱エネルギーの利活用など地域資源を活かした企業誘致活動を積極的に推進します。 ○自然を活かした通年滞在型観光地の展開及び体験型観光を推進し、都市との交流促進を図ります。 ○起業家への支援対策を推進します。 ○広域観光の推進を図ります。 ○クラフトビール工場整備事業					事業内容の追加のため	令和6年3月14日	

			【計画】					【計画】						
			持続的発展施策区分	事業名(施設名)	事業内容	事業主体	備考	持続的発展施策区分	事業名(施設名)	事業内容	事業主体	備考		
24	13、20-21	2 産業の振興	(4) 地場産業の振興 技能修得施設			町		2 産業の振興	(4) 地場産業の振興 技能修得施設	就農支援実習農場施設改修事業	町		事業内容の追加のため	令和6年3月14日
			生産施設	就農支援実習農場施設改修事業		町			生産施設	雪冷熱活用栽培施設整備事業 栽培施設整備	町			
				雪冷熱活用栽培施設整備事業 栽培施設整備		町				高収益作物栽培施設整備事業 トマト・ミニトマト・イチゴ栽培施設	町			
			加工施設	高収益作物栽培施設整備事業 ミニトマト・イチゴ栽培施設		町			加工施設	農産加工場大規模改修事業 農産加工場機械・設備更新事業	町			
				農産加工場大規模改修事業 農産加工場機械・設備更新事業		町				クラフトビール工場整備事業	町			
5. 交通施設の整備、交通手段の確保	31	2	持続的発展施策区分	事業名(施設名)	事業内容	事業主体	備考	持続的発展施策区分	事業名(施設名)	事業内容	事業主体	備考	記載の追記	令和6年3月14日
			4 交通施設の整備、交通手段の確保	橋 梁	橋梁修繕事業 高穂2号橋 外5橋  河川維持管理事業 緊急浚渫事業	町  町		4 交通施設の整備、交通手段の確保	橋 梁	橋梁修繕事業 高穂2号橋 外5橋 外  河川維持管理事業 緊急浚渫事業	町  町			

6 生活環境の整備		持続的発展施策区分	事業名(施設名)	事業内容	事業主体	備考	持続的発展施策区分	事業名(施設名)	事業内容	事業主体	備考		
36	12-18	5 生活環境の整備	(6)公営住宅	公営住宅等屋上防水外壁改修事業 7棟改修  公営住宅解体事業 解体6棟24戸  高齢者住宅建設事業 20戸(1棟5戸×4棟)	町  町  町		5 生活環境の整備	(6)公営住宅	公営住宅等屋上防水外壁改修事業 7棟改修  公営住宅解体事業 解体6棟24戸  高齢者住宅建設事業 20戸(1棟5戸×4棟)  公営住宅等屋根葺替改修事業 3棟改修  公営住宅等屋根塗装改修事業 7棟改修	町  町  町  町	耐力度調査含	事業内容の追加のため	令和6年3月14日
37	1		(7)過疎地域持続的発展特別事業 防災・防犯	【省略】	【省略】		【省略】	【省略】				文言修正のため	令和6年3月14日
37	3-4		(8)その他	北空知葬斎場建設事業	町		(8)その他	北空知葬斎場建設事業	町			文言修正のため	令和6年3月14日
37	6-8			北空知衛生施設組合車両更新事業	町			北空知衛生施設組合車両更新事業	町			事業内容の追加のため	令和6年3月14日
37	6-8							北空知衛星センター組合車両更新事業(可燃ごみ搬出用)	町			事業内容の追加のため	令和6年3月14日

	37	21	<p>(4) 公共施設等総合管理計画との整合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・供給処理施設 資源・ゴミ集積所は、資源リサイクルや町民の生活スタイルに合わせた回収施設として活用されており、今後も計画的な施設管理を行い施設保全に努めます。</li> <li>・消防施設 消防庁舎（深川地区消防組合沼田支署）は役場庁舎に併設されており、役場庁舎改修に合わせ必要な整備を行っております。 各分団詰所は、地域における消防・防災活動の拠点施設であり、建築後30年以上が経過していることから、今後も定期的な点検等により施設の状況を的確に把握し施設の保全に努めます。</li> <li>・公営住宅 公営住宅は、平成24年度に策定しました「沼田町公営住宅等長寿命化計画」を基本に、今後も計画的な施設管理を行い保全に努めます。 教職員住宅は計画的に修繕等を進め、適正な必要施設数を確保し、住宅環境の改善に努めます。 職員住宅は、福利厚生施設として維持を行ってきましたが、老朽化の進行・町内住宅環境の変化により、廃止いたしました。</li> <li>・公園 各公園施設は、町民にとって憩いの場として無くてはならない施設です。今後も町民の利便性を維持していくために、定期的な点検等により施設の状況を的確に把握し施設の保全に努めます。</li> </ul>	<p>(4) 公共施設等総合管理計画との整合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・供給処理施設 資源・ゴミ集積所は、資源リサイクルや町民の生活スタイルに合わせた回収施設として活用されており、今後も計画的な施設管理を行い施設保全に努めます。</li> <li>・消防施設 消防庁舎（深川地区消防組合沼田支署）は役場庁舎に併設されており、役場庁舎改修に合わせ必要な整備を行っております。 各分団詰所は、地域における消防・防災活動の拠点施設であり、建築後30年以上が経過していることから、今後も定期的な点検等により施設の状況を的確に把握し施設の保全に努めます。</li> <li>・公営住宅 公営住宅は、平成24年度に策定し、令和4年度に更新しました「沼田町公営住宅等長寿命化計画」を基本に、今後も計画的な施設管理を行い保全に努めます。 教職員住宅は計画的に修繕等を進め、適正な必要施設数を確保し、住宅環境の改善に努めます。 職員住宅は、福利厚生施設として維持を行ってきましたが、老朽化の進行・町内住宅環境の変化により、廃止いたしました。</li> <li>・公園 各公園施設は、町民にとって憩いの場として無くてはならない施設です。今後も町民の利便性を維持していくために、定期的な点検等により施設の状況を的確に把握し施設の保全に努めます。</li> </ul>	記載の追加	令和6年3月14日
--	----	----	---	---	-------	-----------

<p>7 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進</p>	<p>38 30-31</p>	<p>(1) 現況と問題点          本町の高齢化率は40%を超え、今後においても少子高齢化がより一層進行すると予測されています。また、近年の核家族化や就労形態の変化などにより、家族介護力の低下は今後も続くものと思われます。          介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう介護だけでなく、医療や予防、生活支援、住まいを一体的に提供することが必要となっており、多様化する介護等のニーズに向け、住民が健康で幸せに暮らし続けるため総合的な保健福祉活動の拠点施設として「健康福祉総合センター（ふれあい）」では、各種介護予防事業や特定健康診査、特定保健指導に取り組むとともに、地域包括支援センターの役割を担ってきました。          介護保険制度は、制度の持続可能性の確保とその時代背景を受けて、予防重視システムの転換や新たなサービスタイプの創設等、見直しを行い、順次、地域支援事業へ移行を行いました。          高齢化率が増加しており、介護予防事業の充実や、参加勧奨を行なっているものの、要介護認定者、事業対象者は増加傾向にあり、訪問介護、通所介護等の介護サービス及び、総合事業のサービス需要は高まっております。          町立特別養護老人ホーム旭寿園（定員80名）は、昭和60年の開設からの経過により、各種設備の老朽化と多様なニーズに対応するには狭い事や多床室である事など課題があります。また、介護施設全般に、介護職員等の人材確保が最大の課題となっており、施設運営への影響も懸念されております。          在宅サービスでは、訪問介護事業所（沼田町社会福祉協議会・和風園）の利用件数は減少傾向にありますが、利用者の重度化により恒常的なサービス提供体制が必要となり、サービスは増加傾向にあります。          通所介護では沼田町デイサービスセンター（定員18人/日）は、平成29年10月より、事業所を地域密着多機能型総合センター（暮らしの安心センター）に移設し、利用者のニーズの多様化に合わせ、利用件数も増加傾向にあります。          また、短期入所生活介護は、特別養護老人ホーム旭寿園に併設の短期入所（定員10床/日）、養護老人ホーム和風園に併設の短期入所（定員3床）、グループホームなごみ（定員9名）に併設の短期入所（定員</p>	<p>7 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進</p>	<p>(1) 現況と問題点          本町の高齢化率は40%を超え、今後においても少子高齢化がより一層進行すると予測されています。また、近年の核家族化や就労形態の変化などにより、家族介護力の低下は今後も続くものと思われます。          介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう介護だけでなく、医療や予防、生活支援、住まいを一体的に提供することが必要となっており、多様化する介護等のニーズに向け、住民が健康で幸せに暮らし続けるため総合的な保健福祉活動の拠点施設として「健康福祉総合センター（ふれあい）」では、各種介護予防事業や特定健康診査、特定保健指導に取り組むとともに、地域包括支援センターの役割を担ってきました。          介護保険制度は、制度の持続可能性の確保とその時代背景を受けて、予防重視システムの転換や新たなサービスタイプの創設等、見直しを行い、順次、地域支援事業へ移行を行いました。          高齢化率が増加しており、介護予防事業の充実や、参加勧奨を行なっているものの、要介護認定者、事業対象者は増加傾向にあり、訪問介護、通所介護等の介護サービス及び、総合事業のサービス需要は高まっております。          町立特別養護老人ホーム旭寿園（定員80名）は、昭和60年の開設からの経過により、各種設備の老朽化と多様なニーズに対応するには狭い事や多床室である事など課題があります。また、介護施設全般に、介護職員等の人材確保が最大の課題となっており、施設運営への影響も懸念されております。          在宅サービスでは、訪問介護事業所（沼田町社会福祉協議会・和風園）の利用件数は減少傾向にありますが、利用者の重度化により恒常的なサービス提供体制が必要となり、サービスは増加傾向にあります。          通所介護では沼田町デイサービスセンター（定員18人/日）は、平成29年10月より、事業所を地域密着多機能型</p>	<p>事業内容の修正の</p>	<p>令和6年3</p>
--------------------------------------	-----------------	---	--------------------------------------	--	-----------------	--------------

		<p>1床/空所利用)があり、家族の多忙時期や不在時の利用に加えて、家族の介護負担軽減のための定期的な利用や一人暮らしの高齢者が体調回復のための利用等、需要の高まりとニーズの多様化がみられています。</p> <p>特定施設入居者生活介護事業所は、養護老人ホーム和風園(定員100名)の入所者で要介護認定者にサービスが提供されており、利用者の高齢化に伴い、その状態が重度化している傾向にあります。</p> <p>児童福祉施設については、社会福祉法人が設置、運営する認定こども園(1施設・定員80名)が平成28年4月1日に開園し、きめ細やかな保育・教育、延長保育、障がい児保育の受け入れ等といった子育て世帯における保育ニーズに対応し、保育所と幼稚園の機能を一体化させ、幼保連携のもとで幼児教育の向上と保育環境の更なる充実を図っていくことを目的としております。</p> <p>また、町が社会福祉法人に委託し地域子育て支援センター事業及び一時保育事業を実施しています。</p>					<p>総合センター(暮らしの安心センター)に移設し、利用者のニーズの多様化に合わせ、利用件数も増加傾向にあります。</p> <p>また、短期入所生活介護は、特別養護老人ホーム旭寿園に併設の短期入所(定員10床/日)、養護老人ホーム和風園に併設の短期入所(定員3床)、グループホームなごみ(定員9名)に併設の短期入所(定員1床/空所利用)があり、家族の多忙時期や不在時の利用に加えて、家族の介護負担軽減のための定期的な利用や一人暮らしの高齢者が体調回復のための利用等、需要の高まりとニーズの多様化がみられています。</p> <p>特定施設入居者生活介護事業所は、養護老人ホーム和風園(定員100名)の入所者で要介護認定者にサービスが提供されており、利用者の高齢化に伴い、その状態が重度化している傾向にあります。</p> <p>今後は、在宅サービス及び施設サービスを中心とした将来にわたり持続可能な福祉施策を総合的に検討していく必要があります。</p> <p>児童福祉施設については、社会福祉法人が設置、運営する認定こども園(1施設・定員80名)が平成28年4月1日に開園し、きめ細やかな保育・教育、延長保育、障がい児保育の受け入れ等といった子育て世帯における保育ニーズに対応し、保育所と幼稚園の機能を一体化させ、幼保連携のもとで幼児教育の向上と保育環境の更なる充実を図っていくことを目的としております。</p> <p>また、町が社会福祉法人に委託し地域子育て支援センター事業及び一時保育事業を実施しています。</p>					ため	月14日
		持続的発展施策区分	事業名(施設名)	事業内容	事業主体	備考	持続的発展施策区分	事業名(施設名)	事業内容	事業主体	備考		
39	31	6 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進	(3) 高齢者福祉施設 老人ホーム  その他	旭寿園改修事業 和風園改修事業  認知症高齢者グループホーム建設事業 実施設計・施設建設等	町 町 町		6 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進	(3) 高齢者福祉施設 老人ホーム  その他	旭寿園改修事業 和風園改修事業  認知症高齢者グループホーム改修事業	町 町 町		事業内容の修正のため	令和6年3月14日

9 教育の振興	47	31-37	【計画】										事業内容の追加のため	令和6年3月14日
			持続的発展施策区分	事業名(施設名)	事業内容	事業主体	備考	持続的発展施策区分	事業名(施設名)	事業内容	事業主体	備考		
								8 教育の振興	過疎地域持続的発特別事業	ふるさと資料館解体事業 ○施設が老朽化していることから既存施設に移転して取り壊すことにより、公共施設面積と維持管理経費の縮減が図られ、地域活性化に資する。	町	施策の効果が一過性のものでなく将来につながる事業である。		

	49	<p>2-4</p> <p>(4) 公共施設等総合管理計画との整合</p> <p>・学校教育系施設</p> <p>小学校は平成24年度に建替えを実施し、現状の児童数や必要とされる機能に適応した施設として整備をしております。</p> <p>今後においては、施設・設備修繕等も予想されることから定期的な点検等により施設の状況を的確に把握し、適切な管理に努めます。</p> <p>中学校は、旧校舎の老朽化により平成22年度に現校舎（旧道立高校）に移転をしておりますが、建築後37年が経過し施設・設備に改修・更新が必要な箇所も出てきていることから計画的な点検・改修を実施し、施設の長寿命化を図ります。</p> <p>・スポーツ施設</p> <p>町民体育館は、定期利用団体による夜間利用が大部分を占めており、建築後50年を経過し施設の老朽化も進んでいることから、中学校体育館を改築しての町民利用も含め、将来の複合施設化の検討を進めます。</p> <p>町営スキー場は、平成20年にロッジの改修、平成24年に圧雪車の更新を実施しており、本町唯一の冬期スポーツ施設として親しまれていますが近年は利用者が減少していることから増加を図るための方策を検討します。また、今後においてはリフトの改修など維持管理コストの増嵩も懸念される状況にあることから、施設の見直しによる維持管理経費の削減を検討します。</p> <p>B &amp; G海洋センターは、平成28年に大規模改修を実施し利用者の利便向上・施設の長寿命化を図っていますが、近年は利用者が減少していることから増加を図るための方策を検討します。</p> <p>・交流施設</p> <p>宿泊交流センターは、平成25年度に改修を実施しており小学生の合宿通学や少年団活動、更には町外団体・大学の研修等にも活用されており、今後とも計画的な点検・改修を実施し、施設の長寿命化を図ります。</p> <p>パークゴルフ場内の休憩施設である水郷庵は、平成16年にほろしん温泉から移築しパークゴルフ場利用者等の交流の場として活用されており、建築後36年は経過しますが現状では大きな改修が想定されておらず、今後においては計画的な点検・改修を実施し、施設の長寿命化を図ります。</p>	<p>(4) 公共施設等総合管理計画との整合</p> <p>・学校教育系施設</p> <p>小学校は平成24年度に建替えを実施し、現状の児童数や必要とされる機能に適応した施設として整備をしております。</p> <p>今後においては、施設・設備修繕等も予想されることから定期的な点検等により施設の状況を的確に把握し、適切な管理に努めます。</p> <p>中学校は、旧校舎の老朽化により平成22年度に現校舎（旧道立高校）に移転をしておりますが、建築後37年が経過し施設・設備に改修・更新が必要な箇所も出てきていることから計画的な点検・改修を実施し、施設の長寿命化を図ります。</p> <p>・スポーツ施設</p> <p>町民体育館は、定期利用団体による夜間利用が大部分を占めており、建築後50年を経過し施設の老朽化も進んでいることから、中学校体育館を改築しての町民利用も含め、将来の複合施設化の検討を進めます。</p> <p>町営スキー場は、平成20年にロッジの改修、平成24年に圧雪車の更新を実施しており、本町唯一の冬期スポーツ施設として親しまれていますが近年は利用者が減少していることから増加を図るための方策を検討します。また、今後においてはリフトの改修など維持管理コストの増嵩も懸念される状況にあることから、施設の見直しによる維持管理経費の削減を検討します。</p> <p>B &amp; G海洋センターは、平成28年に大規模改修を実施し利用者の利便向上・施設の長寿命化を図っていますが、近年は利用者が減少していることから増加を図るための方策を検討します。</p> <p>・交流施設</p> <p>宿泊交流センターは、平成25年度に改修を実施しており小学生の合宿通学や少年団活動、更には町外団体・大学の研修等にも活用されており、今後とも計画的な点検・改修を実施し、施設の長寿命化を図ります。</p> <p>パークゴルフ場内の休憩施設である水郷庵は、平成16年にほろしん温泉から移築しパークゴルフ場利用者等の交流の場として活用されており、建築後36年は経過しますが現状では大きな改修が想定されておらず、今後においては計画的な点検・改修を実施し、施設の長寿命化を図ります。</p> <p>・社会教育施設</p> <p>ふるさと資料館は、建物・設備の老朽化が著しく平成27年から閉鎖しております。収蔵品の一部はほたる学習館において展示しており、収蔵品を移設し解体します</p>	事業内容の追加のため	令和6年3月14日
--	----	--	--	------------	-----------

13. その他地域の持続的発展に関し必要な事項	58	15-24	持続的発展施策区分	事業名(施設名)	事業内容	事業主体	備考	持続的発展施策区分	事業名(施設名)	事業内容	事業主体	備考		
											8 教育の振興	過疎地域持続的発特別事業	ふるさと資料館解体事業 ○施設が老朽化していることから既存施設に移転して取り壊すことにより、公共施設面積と維持管理経費の縮減が図られ、地域活性化に資する。	町

※ 軽微変更で本様式を提出する場合で、すでに予算の議決を経た事業を記載する場合は、当該事業に係る予算議決日を「変更の理由」欄に記載してください。